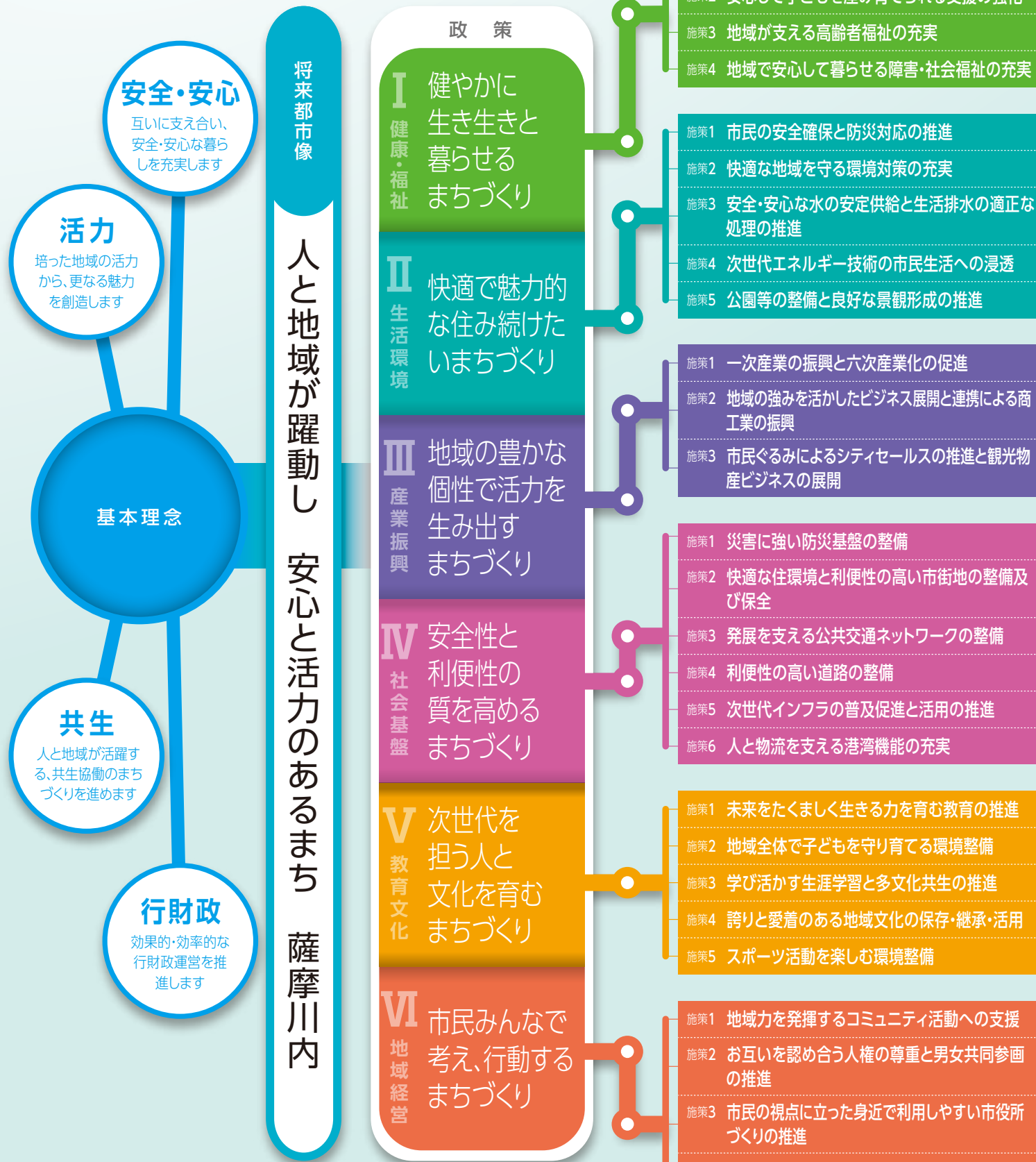


総合計画の構成概念

(基本構想)

(基本計画)



第2次 薩摩川内市 総合計画

【概要版】

「人と地域が躍動し
安心と活力のあるまち
薩摩川内」を目指して



計画の位置付け

この計画は、薩摩川内市自治基本条例に基づく市政の総合的な経営指針として位置付け、長期的な展望に立って市民と市がお互いを尊重しながら、それぞれの役割と責務を認識し、協働してまちづくりを進めるための計画とします。

計画の構成と期間

この計画は、「基本構想」及び「基本計画」で構成し、それぞれ次のような役割を持ちます。

◆「基本構想」とは、本市のまちづくりの全領域にわたる中長期的な目標として、あるべき姿や目指すべき方向を定めるものです。

計画期間：10年間(平成27年度～平成36年度)

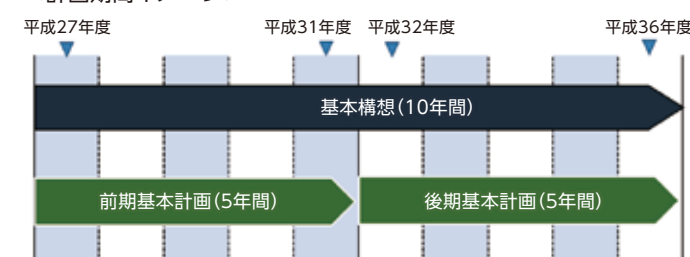
◆「基本計画」とは、基本構想の実現に向けたまちづくりの具体的な取組や進め方を定めるものです。

計画期間：前期5年間(平成27年度～平成31年度) 後期5年間(平成32年度～平成36年度)

<計画構成イメージ>



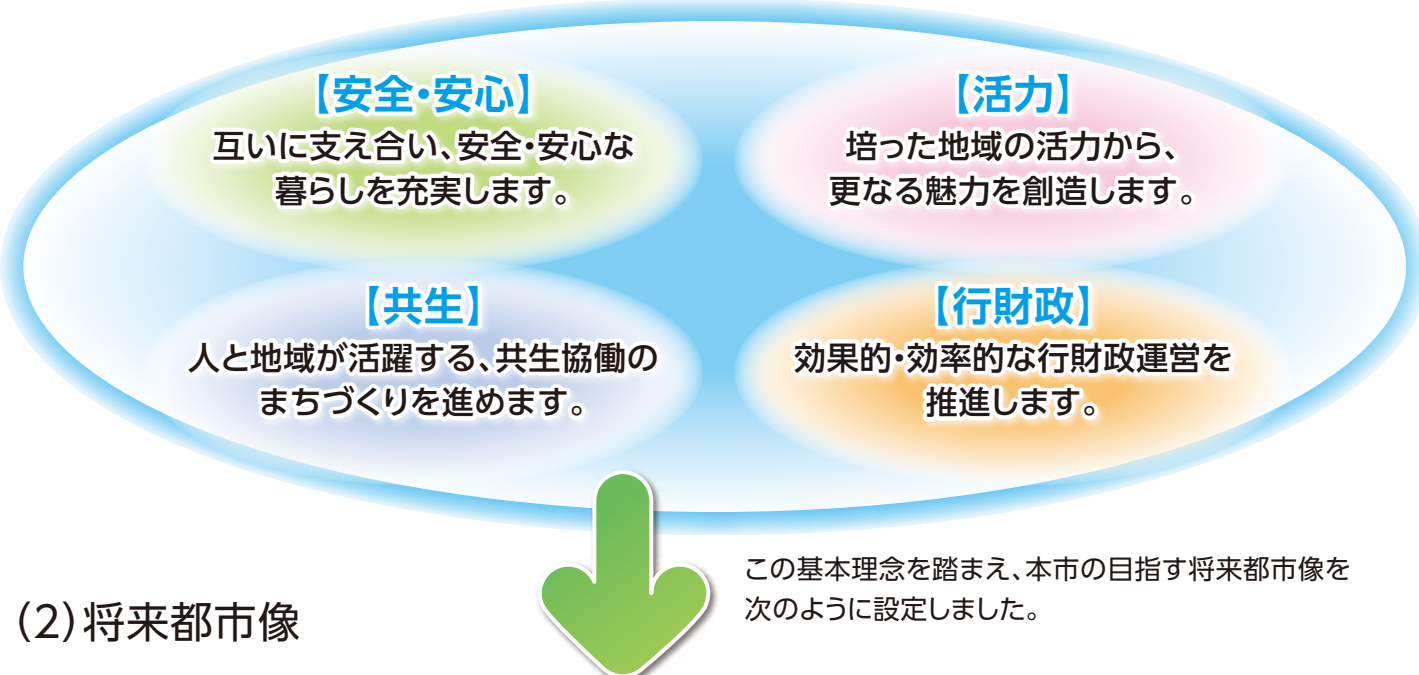
<計画期間イメージ>



基本構想

(1) 基本理念

以下の4つの柱を第2次薩摩川内市総合計画における基本理念として設定しています。



(2) 将来都市像

人と地域が躍動し 安心と活力のあるまち 薩摩川内

基本理念を踏まえた将来の姿<10年後のイメージ>

【安全・安心】

・災害等に係るインフラ整備と市民や地域に非常時の備えが定着し、保健・医療を中心とした暮らしに対する不安が軽減され、豊かな自然や快適な環境のなかで誰もが支え合いながら安心して暮らしています。

【共生】

・日頃の暮らしのなかで、お互いの助け合いの輪が広がり、市民と市が共に力を合わせ、それぞれの地域の課題解決に向けた活動が活発に行われています。

【活力】

・子どもや若者が健やかに成長し、豊かな心、確かな学力が育まれています。先人が築き上げた歴史や文化が継承され、誰もがお互いを思いやり、生きがいを持って生活しています。
・地域特有の資源を生かした様々な交流が、まちづくりの活力となっています。
・産業の振興が地域の活力を生み出す原動力となり雇用が確保され、女性や若者など様々な人たちが希望を持って働いています。

【行財政】

・市民に分かりやすく、簡素で効率的な行政運営、健全で安定した財政運営が行われています。

政策展開の基本方針

まちづくりの基本理念に基づく将来都市像の実現に向けて、健康・福祉、生活環境、産業振興、社会基盤、教育文化、地域経営の6つの政策の基本方針を定め進めていきます。

1 健やかに生き生きと暮らせるまちづくり (健康・福祉)

生活習慣病の予防など市民一人ひとりの健康に対する意識を高め、日々健康な生活を送ることができるように健康づくりを推進するとともに、地域での医療ニーズに応えるための医療体制を充実します。

また、高齢者や障害者など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような地域ケア体制を支えるネットワークの構築、子どもを産みやすく育てやすい環境の整備等に取り組み、市民の健康・福祉の充実に努めます。

2 快適で魅力的な住み続けたいまちづくり (生活環境)

安全・安心な暮らしを実現するため、防火・防災・防犯・交通安全の意識向上や、安全対策を含む防災関連情報の周知、地域ぐるみの活動の推進、関係施設の整備、災害発生時に即応できる体制の強化などに努めます。

また、自然環境の保全や資源のリサイクル、地球温暖化防止対策等の環境・エネルギー対策の充実に取り組むとともに、身近な公園・緑地や河川・海岸等の環境に配慮した整備を行います。

さらに、安全で安心な水の安定供給と災害に強い水道を構築するとともに、水洗化率の向上による快適な生活環境の整備や河川の水質改善等に努めます。

3 地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり (産業振興)

豊かな自然と地域が培った地場産業の振興に加えて、農林漁業の六次産業化、食品、次世代エネルギー、観光など地域の持続的成長に資する分野の発展を図り、地域の雇用創出と経済活動の活性化に努めます。

また、九州新幹線や南九州西回り自動車道、川内港の物流機能を生かし、シティセールスの展開による人、モノ、情報等の相互の連携と交流を活発化させ、様々な分野での活力創出に努めます。

4 安全性と利便性の質を高めるまちづくり (社会基盤)

自然災害から市民の生命や財産を守り、被害を軽減するため、地震・津波対策や水害・土砂災害対策など安全で災害に強い社会基盤の整備に取り組みます。

また、広域化する地域間の連携と交流の基礎となる広域交通ネットワークの構築や生活を支える地域公共交通の確保に努めるとともに、快適で利便性の高い中心市街地を形成します。

さらに、重要港湾川内港を中心とした港湾施設の機能充実を図るとともに、スマートグリッド等の電力情報網や、ICTを活用したサービスなど市民生活の利便性向上のための次世代インフラの導入に努めます。

5 次世代を担う人と文化を育むまちづくり (教育文化)

次世代を担う子どもたちが未来をたくましく生きるために、学校・家庭・地域が連携して、確かな学力や豊かな心、健康な体を備えた生きる力やふるさとを愛する心を育てます。

また、市民が心身ともに豊かに暮らせるように、歴史・文化を継承・啓発しつつ、スポーツを通じた交流や健康づくりなど魅力ある生涯学習の推進に努めます。

6 市民みんなで考え、行動するまちづくり (地域経営)

コミュニティやNPO等が主体的に活動し、地域が抱える諸課題の解決に取り組むほか、地域の企業等が積極的に社会貢献活動を展開し、自助、共助、公助により、それぞれの役割と責任を担いながら様々な場面で相互に連携、補完し合う環境づくりを推進します。

また、財政状況を取り巻く環境が一段と厳しさを増すなか、事業の選択と資源の集中による効果的で効率的な行政経営を推進し、市としての役割と責任が果たせるよう、持続可能な財政運営に努めます。

